

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
身体障害作業療法治療学		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー	
小沢 健一	C305	k-ozawa		水曜日 9:00~10:40	
授業の目的・概要	身体障害に関して、臨床医学や作業療法評価学で学んだ関連事項をもとに、作業療法の特性を生かした治療・指導・援助の方法を学習する。脳卒中をはじめ、整形外科疾患、神経内科疾患、内部疾患、など幅広い疾患に対する作業療法の実際の知識を身に付けることを目的とする。講義は教科書を中心に進め今までの学習から総合的に対象者をとらえ治療・指導・援助の方法を導き出せるようになるための知識や方法を習得できるように教授していく。この講義はメール等による課題提示、同時双方向型授業等の遠隔授業で行っていく。				
学習上の助言	臨床場面では、治療・指導・援助が客観的に根拠を持ってなされなければならない。このため身体障害分野にかかわる各疾患を十分に理解しておかなければ適切な治療・指導・援助が導き出せない。臨床医学の理解に自信のない学生は早めに質問をすること。				
教科書	標準作業療法学・専門分野「身体機能作業療法学 第3版」/ 山口昇・玉垣努編 / 医学書院 / 2016				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	対象者に応じた身体機能作業療法が実施できるよう評価・治療プロセス、また病期・実施場所に応じた治療・指導・援助の概要を説明できる。			OT(2)	
②	身体機能作業療法を実施できるようになるために治療原理を理解し説明できる。			OT(2)、(3)	
③	作業療法でかわる各疾患を説明できる。			OT(2)、(3)	
④	それぞれの疾患、障害に対して適切な評価、治療計画を立てられる。			OT(2)、(3)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	目的と方法および対象の基礎知識を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p6-13 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
2	評価・治療方式の枠組み、プロセス、根拠に基づく実践、治療理論を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p14-33 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
3	リスク管理について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p33-44 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
4	病期・実施場所に応じた作業療法を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p45-58 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
5	ボディーメカニクスと運動制御を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p62-76 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
6	関節可動域の維持・拡大、筋力と筋持久力の維持・増強について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p76-98 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
7	筋緊張異常と協調運動障害、感覚・知覚再教育について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p99-130 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
8	廃用症候群とその対応、物理療法の基礎を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p130-157 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
9	中枢神経疾患への治療を学ぶ。(脳血管障害・頭部外傷) 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p161-190 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
10	中枢神経疾患への治療を学ぶ。(脊髄損傷) 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p191-214 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
11	骨関節疾患への治療を学ぶ。(骨折・加齢性関節疾患・他) 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p216-260 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
12	骨関節疾患への治療を学ぶ。(末梢神経損傷・腱損傷・他) 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p261-333 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	
13	神経筋疾患と神経変性疾患への治療を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p336-374 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

14	内部疾患への治療を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p376-422 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2
15	悪性腫瘍（がん）への治療を学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p424-439 の予習をする。授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	2
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	90	0	0	0	0	90
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	学期末の定期試験(筆記試験)を実施して評価する。 問題(回答)形式は、記述・穴埋め・選択式である。	試験は各自に返却し、解説する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備考

担当教員：◎小沢 健一

教員の実務経験：作業療法士として25年以上の臨床経験。

実践的授業の内容：臨床における最新情報とともに、その専門性を生かして学生に教授する。

双方向型授業：Microsoft Teams を使用して行います。

授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意してください。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢により再度シラバスの変更がありうる可能性があります。

解剖学、生理学はもちろんのこと、作業療法評価学や臨床医学の各分野をしっかり復習しておくこと。